

【参考資料】 令和7年度 学校評価の4点セット整理票 作成の留意点

学校の教育目標														
育成を目指す資質・能力		① 育成を目指す資質・能力：子どもの実態を捉え、連携・協働する保護者や地域の方が見ても明確なものとなるように設定												
学校の教育目標実現のための喫緊の課題を踏まえた重点目標	重点目標に係る目指すべき子どもの姿となる達成指標	担当	分担	達成指標を達成するまたは近づくための重点的取組	重点的取組に係る具体的な取組指標 ※ 誰が、何を、どれくらいの頻度で	学習指導要領が 目指す資質・能力との関連			取組指標に対する 取組状況の確認		達成指標に対する 達成状況の確認		検証・改善方策	
						知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性	SAB 評価	取組状況(エビデンス)	SAB 評価	達成状況(エビデンス)		
				② 重点目標の設定 ・多くとも3〜4項目に絞る。 ・子どもの実態を捉え、連携・協働する保護者や地域の方が見ても育成を目指す資質・能力が明確なものとなるように設定する。	③ 達成指標の設定 ・達成指標は数値化するなど検証可能なものとする。 ・1つの重点目標に対して多くとも2項目程度に絞る。 ・達成指標は、子どもの成果に関するものを設定する。	④ 重点的取組の設定 ・各重点目標に対し3つ程度に絞る。 ・可能な限り家庭や地域が主体となった取組も含める。	⑤ 取組指標の設定 ・「誰が」「何を」「どのくらいの頻度で」を行うかを明確にする。 ・取組状況を定期的に把握でき、短期の検証に適したものを。	⑥ 学習指導要領が 目指す資質・能力との関連 ・各項目ごとに関連する箇所に○をする。 ◇複数可・○がないこともあり得る。	⑦ 取組状況の確認 ・エビデンスをもとにSAB評価し「取組指標」に対する取組状況を簡潔に記載 ◇アンケートによる取組状況の把握については、回答者が明確に自身の取組を判断できるようなアンケートの文言を工夫するとよい。 ◇1つのアンケートで複数のことを問わないようにする等留意 ◇取組指標により実施率100%超が存在しない場合、校内でSの判断基準を定めることも考えられる。		⑧ 達成状況の確認 ・エビデンスをもとにSAB評価し「達成指標」に対して、どのくらい達成できたかを表す。 ◇達成指標の目標が「80%以上」で実績値が「92%」だったとき、達成率は $92 \div 80 \downarrow 115\%$ となり、数値上の評価はSと判断できる。 枠外※参照		⑨ 改善方策 ・⑦⑧の結果を踏まえた要因分析を行い、以下のような改善方策を検討し、記入。 ◇取組指標の変更・継続 ◇重点的取組の深掘り・追加・見直し ◇達成指標の修正 等	次の4点セット整理票に反映
				重点目標の達成が確認・検証できる妥当な達成指標となっているか	重点目標達成につながる重点的取組として整合するものとなっているか	重点的取組が確認・検証できる妥当な取組指標となっているか								
【市町村の今日的課題】														
【市町村の今日的課題】は、市町村によって欄がない場合がある。														

【提出時期について】

1. R6年度末評価版	⇒3/26までに提出
2. R7年度当初計画版	⇒5/12までに提出
3. 第1回学校訪問までの評価版+最新計画版	⇒第1回訪問1週間前までに提出
4. 第2回学校訪問までの評価版+最新計画版	⇒第2回訪問1週間前までに提出
5. R7年度末評価版	⇒3月下旬に提出

※達成状況評価(S:100%超 A:80~100% B:80%未満)